

希望に向かって...

医療法人医誠会 介護老人保健施設
エスペラル近江八幡
 〒523-0071 滋賀県近江八幡市大房町 1002 番地 1
 TEL: 0748-32-1165 FAX: 0748-32-1190

らくはた楽トーク

vol.1



看護部長
 うえき せいこ
植木 清子 より

前編

エスペラル近江八幡に赴任してから約1年が経ちました。それまで私は11年間、訪問看護師として人工呼吸器の管理が必要な方や、小児慢性特定疾患、ターミナルケアといった、比較的重度の患者さんの看護を中心に、在宅医療に携わりました。訪問看護ステーションでは医療依存度の高い方の対応が難しいため、残念ながら時には患者さんを選ばなければならない側面もあります。しかし最後まで自宅で過ごしたいと願う方も多く、そういったニーズへの対応こそ力を入れていくべきと考えながら活動した11年間でした。

当施設に赴任してからも在宅への支援や復帰をテーマの一つとしています。医療が進歩し、長生きする時代。看護と介護を比べるものではありませんが、その境目が曖昧になりつつあります。医療依存度が高くても老健施設の利用を希望する方がおられる一方で、スタッフへの負担が大きいため、地域での受入れ態勢は充実していません。そのような中、当施設では昨年10月より、新たに人工透析や在宅酸素を必要とされる方々の受入れを開始しました。現状をヒントに、誰かが「無理だ」と言えば「じゃあこうすればいい」と提案することを常に心がけ、実行に移しました。幅広い受入れ態勢を整えてこそ“在宅”という選択肢が生き、地域の医療と福祉に貢献できると考えます。間もなく開設から3年が経とうとしています。看護師18名、介護士54名の体制で、高齢者が好きだから老健施設を職場として選んだスタッフたち。経験を積まれたベテランから新規卒業者まで、みんなが楽しそうに仕事をされています。(はなてんびん3月号に続く)

スタッフ募集中! 詳しくは採用担当者までお気軽にお問い合わせください

糖尿病教室 毎月第3木曜日の11時から (1時間程度)

糖尿病の症状や正しい食生活について、当院の内科医師・管理栄養士・理学療法士・薬剤師・臨床検査技師・看護師等による講演です。

場所: 当院 新会議室(2階)

- 2/18 臨床検査技師「検査で何がわかるの? (糖尿病検査データの見方)」
 管理栄養士「おやつと外食のベストチョイス! (選び方)」
- 3/17 看護師「足のお手入れ (糖尿病で足を切らないために)」
 管理栄養士「これであなたも糖尿病食マスター!!」

参加費無料の全6回シリーズです。途中の回からでもお気軽にご参加ください。プチプレゼントをご用意しています。



看護師さんを募集しています!

— 私達と一緒に働きませんか? —

20代~50代のスタッフが活躍しています。経験が浅い方、ブランクのある方も丁寧に指導します。好きな看護の仕事を長く続けられるよう、ワークライフバランスを大切に力いっぱいサポートしています。配属先・勤務時間などはお気軽にご相談ください。

復職支援
 セミナー
 開催日程

平成 28年
3月9日(水)
 時間 9:30~13:30
 会場 神崎中央病院



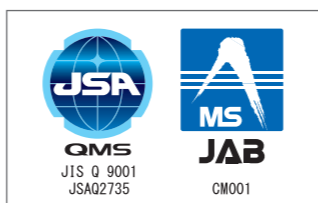
●奇数月の第2水曜日を開催日としています●

診療科目 内科・外科・整形外科・皮膚科・耳鼻咽喉科・人工透析内科・人工透析室(38床)・リハビリテーション科・泌尿器科(休診中)

診察日 月~金 午前診察・午後診察 / 水・木は午後休診
 土 午前診察 ※日曜日・祝日は休診

診療時間 午前診察 9:00~11:30 / 午後診察 13:30~16:00

地域医療連携室 TEL: 0748-48-5558 FAX: 0748-48-5722
 広報責任者 山本 寛人



はなてんびん

医療法人医誠会
神崎中央病院

Vol.90 2016.2

発行: 地域医療連携室

Pick up photo



看護配置基準の変更 2A病棟(障害者施設等入院基本料、師長: 高野真由美)では1月、看護基準を15:1から13:1に変更し、新たな体制でスタートを切りました。より充実した療養環境を整え、入院される患者さんに良質な看護ケアを提供いたします。

たかのまゆみ



contents

神崎最前線: ワークライフバランスの推進を目指して
 特集: 満足度に関するアンケート調査結果の報告
 エスペラル近江八幡だより 希望に向かって... / 糖尿病教室 / 看護師さん募集

ワークライフバランスの推進を目指して

4 B 病棟師長 ささもと なおこ
 笹本 直子



広報誌はなてんびん 12月号でご案内した当院のワークライフバランス (WLB) の活動について、引き続きお話しさせていただきたいと思います。

WLB推進メンバーは合計6名で構成しており、看護師より師長2名、主任3名、総務課より主任1名で去年より活動を開始しました。看護部（看護師）へのインデックス調査の結果から、「働きやすい職場であるもののやりがいに欠ける」という結果となりました。

国の動向として、今後長期療養入院を減らし、在宅療養への移行が強く求められています。当院としても近隣の介護施設としっかり連携をとって、地域住民の皆さんに選んでいただける病院にしなければ難しい時代になってきています。病院の中で一番大きな組織となる看護部の看護師一人ひとりが、現状維持で良いと思うのではなく、やりたい看護ができるように、働きがいを持って毎日を過ごすには、どうしたら良いのか。問題を分析し、実行に移していくにはどうしていけば良いのかを考えていきたいと思っています。

現状の看護師の業務量の多さも問題になっています。また、非常勤看護師の占める割合も高く、常勤看護師にかかる負担の大きさも、仕事をしていく上でのやりがい感に欠ける原因の一つであると考えます。各部署での業務改善や、看護部だけでは解決できない問題に関しては、他部署としっかり話し合い、協力していきたいと思っています。自分の家族を入院させたいと思える病院、また、友達と一緒に当院で働きたいと自信を持って勧められる病院にしていく為に、少しずつできる事から取り組んでいかなければならないと考えます。



WLB推進活動に病院全体で取り組み、結果として、地域住民に信頼され、職員一人ひとりがやりがいを持って働き続けていけるようにすることが大切と考えます。今後も、皆様のご理解とご協力をよろしくお願い致します。

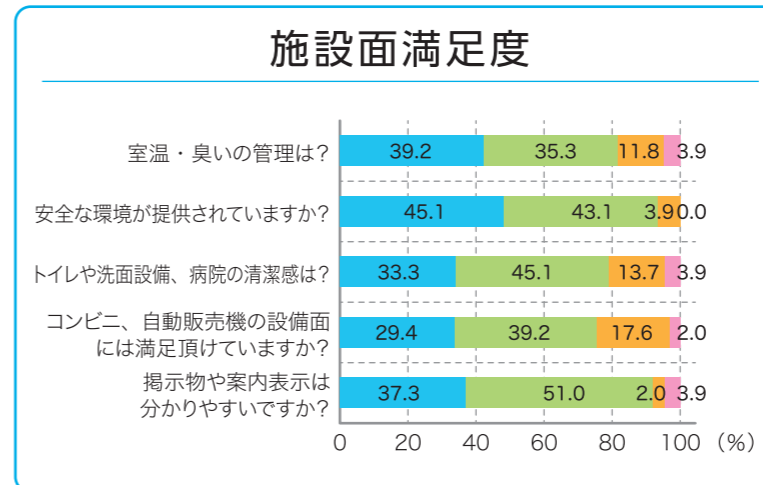
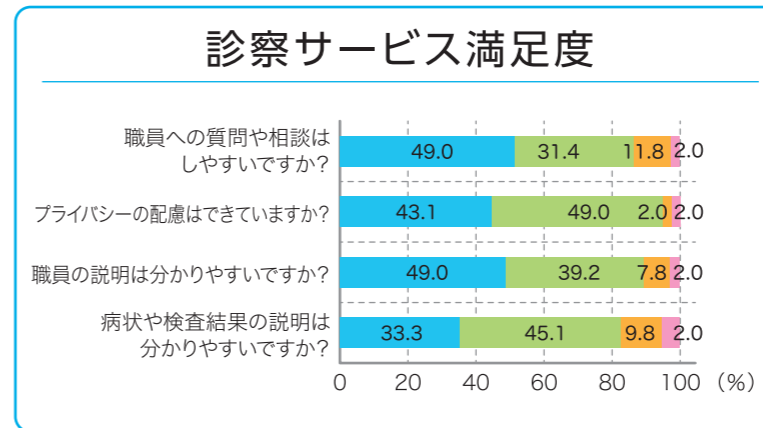
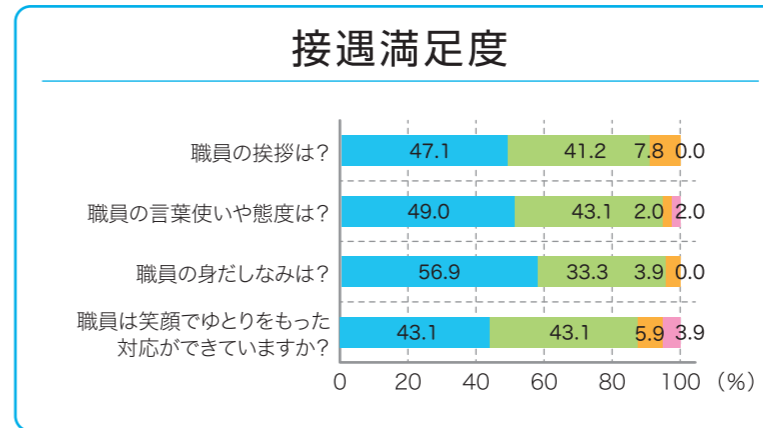


特集

満足度に関するアンケート調査結果の報告

1. 調査目的 ご満足いただける医療・看護の提供を目指して、当院外来患者さんの実態や当院への評価及び満足度を把握し、問題点の改善から満足度の向上に役立てる
2. 調査対象 当院の入院患者さんやご家族の方々
3. 調査期間 平成 27 年 10 月 11 日～ 11 月 30 日
4. 調査人 神崎中央病院CS部会

■満足 ■どちらかといえば満足 ■どちらかといえば不満 ■不満足



ご意見と回答

- 受付はなんだか冷たい
目配り、気配り、心配りに注意していきます。
- 床に髪の毛がすごく落ちている
日々清掃は行っていますが、更に注意していきたいと思っています。
- トイレの場所によって 泡石鹸がない場所がある
泡ボトルへ切替いたしました。
※H27.12 現在
- 駐車場が一杯で駐車する場所がなく困っています
来年度に増設を検討しています。
- 職員さんとすれ違っても 無視されています
挨拶を心掛けていますが、他に気を取られて出来ない事があったかもしれません。今後注意していきます。

アンケートへのご協力ありがとうございました。「信頼の医療」を提供できるよう日々改善に努めます。